

## 知的財産戦略本部会合(第10回)

# 「知的財産推進計画2005」に向けて

2005年4月26日

三菱電機株式会社

執行役社長 野間口 有

日本発技術の国際標準化は、  
産業競争力の強化につながる  
(情報通信から、自動車、FA、ナノテク等へ)

知財推進計画によって、  
国際標準化に関する政府の取組は進展

戦略的国際標準化を  
知財推進計画2005においても推進すべき

### 取組むべき重点課題

調査開始申立制度の整備

支援の効率化に向けた取組

技術標準に関連する特許の取扱いルール of 改善

## 調査開始申立制度の整備

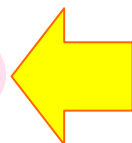
### 国際標準と異なる国家標準は非関税障壁

WTOに違反、市場に参入する企業にとって脅威

(事例：無線LAN規格)

A国政府

国際標準とは異なる  
規格を義務付け



米国通商代表部

義務付け撤回を要求

米国  
企業

(米国企業の声を受けて)

その他の独自規格の動き

DVDの独自規格EVD



WTO違反となる諸外国での標準策定を阻止するため

調査開始申立制度を整備すべき

# 支援の効率化に向けた取組

国際標準化は民間主導だが、国の支援にも期待

2005年4月

(財)日本規格協会に 国際標準化支援センター 設置

ISO, IECでの国際標準化活動に関する支援を実施

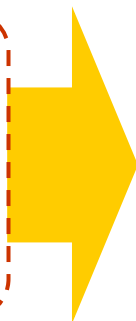
- ・人材派遣及び人材育成への支援
- ・多国間連携(日中韓、アジア諸国)
- ・知財権と技術標準を巡る問題

# 技術標準に関連する 特許取扱いルールを整備

## 技術標準関連特許専有による競争制限行為

標準関連特許保有企業が、  
標準普及後に権利行使

事例; JPEG標準/SDRAM規格



独禁当局への期待

・事例の行為に対する  
独禁法適用の可能性

・パテントプールに関する  
ガイドラインの見直し

標準化機関での特許取扱いルールの改善

国際標準化機関(ISO,IEC,ITU)の共同活動の場

世界標準協力(WSC)



日本がリーダーシップを発揮することを期待